

## 【南区】平成 29 年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 29 年 9 月 11 日(月) 午前 11 時 00 分～午前 11 時 58 分
場 所	南区役所 6 階 特別会議室
出席者	<p>【座 長】 荒木由美子議員</p> <p>【議 員：4 名】 遊佐大輔議員、渋谷健議員、仁田昌寿議員、伊藤純一議員</p> <p>【南 区：23 名】 大木節裕区長、池尻恵子副区長、富田千秋福祉保健センター長、古橋正人福祉保健センター担当部長、國本直哉土木事務所長、太田孝消防署長（災害担当部長）ほか関係職員</p>
議 題	<p>(1)平成 28 年度南区個性ある区づくり推進費の決算について</p> <p>(2)平成 29 年度南区個性ある区づくり推進費の 自主企画事業費の執行状況について</p> <p>(3)平成 30 年度南区個性ある区づくり推進費の 編成に向けての考え方について</p>
発 言 の 要 旨	<p>【伊藤議員】</p> <p>28 年度の 16 ページの参考 1 には、「外国籍・外国につながる児童生徒のための支援の向上」とあるが、29 年度の 18 ページを見ると書かれていない。これは、「外国籍と生徒に向けた放課後学習サポート事業と多文化共生コミュニティづくりのモデル実施」に移行されたということではないか。</p> <p>【須山学校連携・こども担当課長】</p> <p>28 年度の「外国籍・外国につながる児童生徒のための支援の向上」については、資料にあるとおり、3つの事業を行いました。このうち「放課後連絡サポート事業」と「学校支援多言語サポーター派遣事業」については、教育委員会事務局の事業として統合され、実施を続けています。</p> <p>「外国籍・外国につながる生徒の学習支援教室」につきましては、区として学校を支援するというので、外国籍等の中学生の生徒を対象に、週 1 回放課後に、多文化共生ラウンジで事業を引き続き行っております。ま</p>

た、これについては、教育委員会と国際局、中区と南区の4者で、今後どういう形で事業を継続していくか検討している状況です。

**【伊藤議員】**

29年5月現在の市内の外国人人口データによると、やはり横浜市の中でも、南区が一番多い部類だと思うが、今回、国際局も含めて手厚く予算をもらえたということはいいことだと思う。「放課後連絡サポート事業」では、学校の便りや広報物をどれぐらいの部数翻訳したのか。「学校支援多言語サポーター派遣事業」では、どれぐらいの学校に通訳ボランティアを派遣したのか。また、これは英語だけなのか、他の言葉もなのか、教えていただきたい。

**【須山学校連携・こども担当課長】**

保護者連絡サポートにつきましては、28年度の実績が、プリントの枚数で言うと、161枚の翻訳を行っています。言語については、中国語、タガログ語、英語、タイ語、ロシア語、インドネシア語等で、割合としては中国語が34%強で、一番高くなっています。それから、サポーター派遣事業につきましては、合計で45回派遣を実施しております。

**【伊藤議員】**

「放課後連絡サポート事業」、「学校支援多言語サポーター派遣事業」は教育委員会の事業になったということだが、現場の声というか、要望がいろいろとあると思うので、引き続きその点も認識して、29年度以降も連携強化していただきたい。

もう1つ、この会議の資料には載っていないと思うが、今年の7月の市長選は、開票を南区役所の会議室で行った。今後も市長選や地方選挙、補欠選挙などで、単独の選挙になった場合に、やはり南区役所でできるのか。それとも、課題が今回見つかって、単独選挙の場合でもスポーツセンターに戻すのか。もし、今の段階で何か方向性がわかれば教えていただきたい。

**【野坂総務課長】**

今回は、投票箱は1つだけでしたので、区役所の7階会議室で行いました。ただ、投票箱が2つ3つになりますと、7階会議室では入りきらない

だろうというふうに考えております。したがって、複数の投票箱を要する選挙の場合には、区役所で開票を行うことは、今のところは考えてはおりません。

**【伊藤議員】**

では、単独選挙の時は、区役所で行う可能性があるということか。スポーツセンターでは、開票所の設営など結構お金がかかるので、経費的にも、また警備の面も安心だと思うので、単独選挙だったら区役所でやっていただきたい。もし、今回課題があったのであれば、話し合っ解決していただきたいと思う。

**【渋谷議員】**

確認ですが、1 ページの 区づくり推進費の決算書で 400 万円ほど執行残になったということだが、この 400 万円はどう扱われるのか。

**【野坂総務課長】**

執行残については、市全体の歳入歳出の中で残になるのか、それとも市民局の中でまた別途使われるのかは、わかりませんが、結果的に市民局に一旦戻すという形になります。

**【渋谷議員】**

決して無駄に使えという訳ではないが、全体の中で 400 万円というと結構大きな金額のように思うし、一つ一つの事業を見ると、ものすごく圧縮して、厳しい予算でやっていると思うので、何か工夫して、年度内に、南区の中で使うということはできないのか。

**【野坂総務課長】**

当然、流用であるとか実行対応しなければいけないものも、年度の中では出てきますので、先生ご指摘いただきましたように、必要なものであれば、より効率的な執行ができるように検討してまいりたいと考えております。

**【渋谷議員】**

要するに、何かの事業を8やりましよう決めていたが、やってみたら

少し予算余りそうだと。それならば、年度の途中から 10 対応できるかも知れないということか。

**【野坂総務課長】**

費目によっては規制費目などがありますが、原則的にはそういう形で対応していきたいと考えています。

**【渋谷議員】**

大前提として、余ったから何でもいいからやるべきということでないが、厳しい予算でやっているのに、400 万円を市民局に返してしまうのも何かもったいないという気もするので、是非工夫をして、来年度はあまり残ったお金がないようにしてもらいたい。

15 ページの放置自転車対策で、75 万 9 千円が減額だったということだが、毎年やっていることは、大体同じようなことだと思うが、なぜこんなに減額になったのか。

**【鈴木地域振興課長】**

こちらの事業は道路局と一緒にやっている事業で総額は 900 万円ぐらいの事業です。道路局予算の足りない部分を区のほうが負担しまして、たまたま今回は入札によって、格段安い事業者になり、今回は、このような形になっております。

**【渋谷議員】**

南区でのこの事業にかかる予算は 900 万円ちょっとということだが、そのうち、道路局はどのくらい出しているのか。

**【鈴木地域振興課長】**

800 万円ぐらいです。

**【渋谷議員】**

道路局が 800 万円ぐらい出して、残りの 100 万円ぐらいを南区が出していると。すると、75 万円減額になったということは、南区は今回 25 万円ぐらいの支出でよかったという理解でいいか。それとも道路局の負担も下がっているのか。

**【鈴木地域振興課長】**

道路局は満額出して、南区の分だけが余っている形になります。

**【渋谷議員】**

わかりました。

**【遊佐議員】**

何点か伺いたい。このあいだJアラートが発令された時に、実は東北にいたのだが、携帯電話でアラーム音が鳴って、ミサイルが発射されたというメールが入ってきたが、はっきり言ってどうしていいかわからなかった。政府の広報などを見ると、こうしてください、ああしてくださいというのはあるのだが。ミサイルに対応した防災訓練をどこかの地域でやっているところがあるのかと特別委員会で質問したら、市内の町内会で独自でやっているところがあるということだった。最近地域で行われている防災訓練の中でも、役員からどうしたらいいのかという声を結構聞く。防災訓練でどう対応するのか、市から区のほうにマニュアルが来ていないのか。

**【野坂総務課長】**

特に市のほうからは、先生がおっしゃるようなマニュアルは回って来ておりませんが、6月の「広報よこはま」で危機管理室の記事を掲載させていただいています。また、内閣官房が作成した弾道ミサイル発射時に取るべき対応について書かれたポスターの掲出をしております。

**【遊佐議員】**

回覧板などで回るのか。地域の防災訓練に毎年出ている役員の人が全く見ていないというのもどうなのかと思う。区でもそのへんを議論してもらえればなど。私も議会の中で議論していくので、お願いしたいと思う。

あと、もう1つ。環境創造と資源循環の常任委員会で、みどり税がまた議論になっている。南区は、みどり税の恩恵を受けにくい区であるが、その議論は、また市会でやっていくのでいいけれども。南区では、京急弘明寺駅の壁面の緑化と平楽のチューリップの栽培ぐらいしかやっていないので、何か区で恩恵を得られるようなことをやってほしい。例えば大通公園をもうちょっときれいにするだとか。ちゃんと税の還元を受けているこ

とが目に見えない限り、もろ手を挙げて賛同というのはできないという話をしてしているところだ。南区としても、蒔田公園でもいいし、大通公園でもいいのだが、普段目に見える形で、何か区として提案できないものなのかと思っている。私も環境創造局には強烈に言っているので、区長のほうからもメッセージを出して、援護射撃していただけるとありがたい。

#### 【黒田区政推進課長】

区内でみどり税がなかなか使われていないというご指摘、大変耳に痛く感じています。私どもとしても、機会をとらえて、区内に残る緑地の保全などについて、環境創造局に要望をさせていただいております。一例を申し上げますと、中里温泉というところでは、地域の皆様から貴重な緑地として取得してほしいというご要望をいただいておりますが、この春、地権者と緑地の部分を段階的に取得する話がまとまるとともに、旅館の部分も取得して、弘明寺公園と一体的な整備に向けて、今後検討していくことになりました。また、旧土木事務所の跡地につきましても、緑アップ計画に基づいたシンボリックな緑化の創出ということで、少し緑が多めな公園を整備していこうということで、環境創造局の事業として取り組む方向になっております。このように、一つ一つの機会をとらえて、南区の緑被率の改善につなげていきたいと考えております。

#### 【大木区長】

今、具体的にいくつか最近の例も挙げさせていただきましたが、先生おっしゃるように、南区は緑被率も一人当たりの公園面積も少ないということも含めまして、緑アップ計画で、みどり税そのものではなくても、広義の意味での緑アップを環境創造局とも調整して、皆様の関心があるような部分、特に大岡川プロムナード、桜が区民の皆様にも大変愛着のあるものですので、できるところからやっていくことを今後も心掛けてまいりたいと思います。

#### 【遊佐議員】

中里温泉と弘明寺公園の話も大事だと思うし、いま区長が言ったように、見える形でのメッセージを出していくことも大事だと思う。南区には造園協会に属している人が結構多いのだが、区長はその方たちと対談などしているのか。

**【黒田区政推進課長】**

はい。昨年、緑化フェアの取組について紹介をさせていただいた際にも、造園協会様のご意見を聞いたほうが良いというご指摘をいただきましたので、29年度事業に関しまして、造園協会の皆様とお話しをさせていただきました。その中では、桜にちなんだ事業をやったほうが良いのではないかと、期間を3週間ぐらい集中してやったほうが良いのではないかと、というご意見をいただきまして、桜まつりの時期に蒔田公園に特設花壇等を作ったり、ご意見を反映させていただきました。また、緑化の事業などに取り組む際に、機会を得てご意見をいただきたいと考えています。

**【大木区長】**

区内の企業とコミュニケーションできることは大事ですし、企業としての地域貢献みたいな意味合いも含めて、私の着任早々に、いくつかの企業と意見交換もさせていただきました。今後も、地元で一緒にやっている住民団体や企業とか学校が本当につながっていくために、できることは1個ずつしていきたいと思っています。

**【遊佐議員】**

よろしく申し上げます。以上です。

**【仁田議員】**

中里温泉については、地域の方の強い要望があつて、整備の方向になつたのは大変ありがたい話である。今後も整備を円滑に進めていただきたいと思う。もう一つ、蒔田消防署出張所のホースタワーの緑化は、あまりうまくいっていないようだが、これも緑アップの事業と理解してよいか。

**【太田消防署長】**

先生おっしゃるとおり、蒔田出張所のホースタワーも、緑化の事業として一部やっていましたが、ちょっと枯れてきて見た目が非常に悪いので、局の施設課と協力しながら改善していきたいと思います。

**【仁田議員】**

先ほどから皆さんおっしゃるように、南区の中には緑化する場所がないこともあるが、ホースタワーは非常に象徴的な場所でもあるし、区民の方

も多く理解しやすい場所なので、改善してほしいなと思う。是非よろしく  
お願いしたい。

それから、1 ページの区庁舎管理費のところ、光熱水費の減による  
という説明があったが、これは、区庁舎と市大センター病院との電力融通の  
効果という理解でよいか。

**【野坂総務課長】**

そういう効果も確かにあると思います。もう一つ、実は原油価格の下落  
も理由にあると思われます。いくつかの要因が相まって、結果的に低い価  
格でできたという形だと思います。

**【仁田議員】**

わかりました。

次に4 ページの特定検診の受診率向上について、先ほどの説明では発送  
の委託料の減ということでしたが、件数が減ったということなのか。

**【鈴木保険係長】**

委託そのものを見直していますが、件数が減ったわけではございませ  
ん。

**【仁田議員】**

件数が減ったわけではないことは、勸奨事業の効果としては、同程度の  
ものをより安価に執行できたという理解でよいか。

**【鈴木保険係長】**

はい。おっしゃるとおりです。

**【仁田議員】**

南区では基本的な重要な事業だと思うので、充実をお願い申し上げた  
い。

次に、3 ページの自治会町内会加入促進に関してだが、比較的加入率  
が高い南区ではあるが、年々厳しい状況であることが今後の課題になると思  
う。ところで、この自治会町内会加入案内は、どこが発行したものを使っ  
ているのか。



**【鈴木地域振興課長】**

南区独自のものを使っています。

**【仁田議員】**

これは、民間のいわゆる賃貸借で入居する際に、勧奨していただく事業ということですか。

**【鈴木地域振興課長】**

宅地宅建協会の南支部のそれぞれの不動産屋さんに自治会加入の申込書を置いていただいて、入居の契約の時に勧奨していただくという取組をしたいと思っています。

**【仁田議員】**

南区の中にもURなど公的な住宅もあるので、そういうところでの取組はどうなっているか。

**【鈴木地域振興課長】**

建築局で所管している市の住宅供給公社につきましては、入居の時に町内会への加入をお願いする取組を建築局と一緒にやっております。URにつきましては、今後検討していきたいと思っております。

**【仁田議員】**

URも同様の趣旨のものを配っていると聞いているので、もう少し内容を調べてもらって、自治会町内会に加入することが望ましいということをお願いしていただけるといいなと思うので、ぜひ検討していただきたい。要望しておきます。

**【鈴木地域振興課長】**

はい。わかりました。

**【荒木議員】**

3ページの減災推進事業の主な増減理由のところ「即時避難勧告対象世帯向け音声情報システム導入による通信費用の増」となっているが、対象305世帯中74世帯が加入と書かれているので、なるべくこの音声シス

テムを使ってもらったほうがいいと思う。これで終わりなのか、それとも、引き続き増やす考えなのか、まずお聞かせいただきたい。

**【野坂総務課長】**

システムの加入率ですが、現時点では、6割を超えた方に対して加入していただいています。通信費につきましては、予算上、当然計上しております。終わりという話ではありません。なお、今申し上げたのは、電話以外にもファックスですとかEメールですとか、それぞれの手段で情報をお伝えしているのが68.8パーセントということです。

**【荒木議員】**

そうすると、残り100%に近づけることは、引き続きやっていただけるのか。

**【野坂総務課長】**

なかなか100%というのも難しいかなとは思いますが、ポスティングも引き続きやっておりますので、努力を続けていきたいと考えております。

**【荒木議員】**

避難勧告を出していただくのはいいが、雨がすごく降っているときに移動できるかというのが、一番のネックだと思う。職員の皆さんが早めに避難所開設していただくのはありがたいが、そこへ行くアクセスがとても大変だと思う。要援護者がいたり、お子さんがいたり、時間と場所とかにもよる。避難勧告が出た場合、住民の皆さんにどのように判断をしていただくのか、素人ではわからない。やはり、あまりひどくならないうちに、とにかく逃げるが勝ちではないが、そういう意識をどう持たせていくのかがとても大事だと思う。避難をする立場に立った通報の仕方というのをどう考えているのか。ちょっと難しいかも知れないが、教えてほしい。

**【野坂総務課長】**

南区内には16か所の崖があります。行政側としては、崖の崩壊の危険性がありますので、即時避難勧告という形で出させていただいています。すぐ逃げなければいけないと思われるのか、それとも、まだ大丈夫だと思われるのか、なかなか統一的な判断基準を持ってこうしなさいという

のは難しいのかなと考えています。それは、お住まいの場所にもよると思います。例えば、マンションの1階にお住まいの方と2階以上に住まいの方とでは、危険性も当然差があると思います。なので、なかなかお答えしづらいものがあります。

**【荒木議員】**

そこがいちばん課題だと思っています。とにかく避難することが最優先だということを、何回も言う必要がある。ここまでは大丈夫と言うと危険だという場合もあるから。その辺の判断については、何回も言うのがベストだと思う。是非、防災訓練の位置付けについても、区役所側から発信してほしいと思うので、消防とも連携してほしい。

11 ページの増減の理由「児童虐待等相談支援事業において、女性福祉相談職員が配置されたことによる報償費の減」について説明をお願いしたい。

**【戸矢崎こども家庭支援課長】**

女性福祉相談員は、こども青少年局で採用されます。南区では相談が多かったので、区づくり推進費でも、もう一人相談員を区独自で雇っていましたが、その採用の決定が2月か3月頃ですので、予算が先に確保されたことで、その分が不用になったという状況です。

**【荒木議員】**

わかりました。

次に、25 ページにある南まつり、本当にお疲れ様でした。今年は熱中症が出なくてよかったと思います。南まつりの絵どろろうのLED化は非常にいいと思うが、430 万円の全体予算のうちどのくらいなのか。

**【鈴木地域振興課長】**

予算上は、50 万円を予定しております。ただ、実際に使ってみますと、かなり老朽化が進んでおりますので、今年度の対応などで考えさせていただければと思っております。

**【荒木議員】**

途中で雨が降ってきたりすると、電熱だと危ないので、安全性も含めて

是非進めていただきたいと思います。

最後に、この資料にはないが、いわゆるごみ屋敷条例が施行されて、区内ではどのくらいの件数を対応しているのか。また、ケアプラザから相談が行った場合については情報として上がっているのか。

**【飯田福祉保健課長】**

今ごみ屋敷で対応している案件、8月末時点で4件ございます。ケアプラザ等からの情報提供も適宜対応させていただいているところでございます。

**【荒木議員】**

ごみ屋敷の問題は、すぐには解決には至らない場合もあると思うが。これは、あくまでもごみ屋敷条例にかかわる件数だけということでしょうか。

**【飯田福祉保健課長】**

はい、そうです。

**【荒木議員】**

わかりました。ありがとうございます。

備 考